

こんばんは 遠友塾 です!

札幌遠友塾 受講・スタッフ・見学希望はこちらまで

「札幌遠友塾自主夜間中学」は、ボランティア・スタッフが運営している自主夜間中学です。これまでさまざまな理由で義務教育を十分に受けることが出来なかった500人以上の人たちが学んできました。遠友塾は1990年にスタートし、35年目を迎えました。2009年から皆様のお陰で、札幌市立向陵中学校の教室で、毎週水曜日の夜に授業を行っています。

事務局長 中島圭子 電話:090-7645-7681

代表 黒澤晴一 電話:011-827-8072

社会見学「札幌市民防災センター」

7月21日(日)札幌市白石区南郷通にある「札幌市民防災センター」を見学しました。入館時に2グループに分かれ、スタッフの案内で体験ブースを回りました。「消火体験」では火元をねらって消火すること、「煙避難体験」では姿勢を低くして逃げること、地震体験では揺れている間は頭を守り、揺れが収まってから火元の確認をすることなど、防災の基本ルールを学びました。「災害バーチャル体験」では、音響と振動、冷風の効果によって、実際に水害や津波に襲われるような恐怖を、体験することが出来ました。



じっくりクラス「理科授業～糸電話～」 テーマ：宇宙で会話できますか？

6月26日の1～2校時、札幌遠友塾のじっくりクラスで「糸電話で離れた相手と話してみよう」という理科の授業が行われました。



「伝える媒体がない真空の宇宙で会話できますか」との謎解きに挑戦し、音の伝わり方を学びました。音の波を伝える媒体があれば、宇宙でも音は伝わるということがわかりました。糸電話です。受講生さんとスタッフが協力して、糸電話を作って実験しました。

2人でも3人でも4人でも、音が伝わり会話が出来ました。自分たちで考え、試して謎解きが出来た、楽しい2時間でした。

1年クラス 授業風景

7月24日、向陵中で1学期最後の授業。1時間目の「国語」は中原中也の詩『夏の日』をみんなで音読し、その後「文のつくり」の「つなぐ言葉(接続詞・接続助詞)」について空欄補充問題を解きながら、接続詞や接続助詞のはたらきを学びました。2時間目の「社会」は初めに「5分間トピックス」で「アメリカ大統領選挙のしくみ」を説明。その後、「日本の国土の特徴」について、TVモニターに教材を映しながら、地形の特徴から自然災害について、クイズを交えて学びました。直前の「社会見学」で訪れた「札幌市民防災センター」での震災体験があったので、大変タイムリーな内容でした。



国語



社会

8月21日、「かでる2・7」で2学期最初の授業が始まりました。1時間目の「数学」は前時の復習の後、「2ケタ×2ケタのかけ算」の練習問題を解きました。指名された受講生さんがホワイトボードに出て解答。2時間目の「英語」は英語で挨拶してから『アー・ユー・スリーピング?』を歌い、「文字の名前読み」と「発音読み」を「A」から「Z」まで発音しました。最後は「大文字・小文字のビンゴゲーム」で盛り上がりました。



数学



英語

AEDを使った救急救命法を学ぶ

じっくりクラス「社会科授業」

スタッフHさんのお父さんが医療従事者に救命処置の指導をされていることを伺い、今回、社会の授業2時間を使って、受講生さん・スタッフ向けに「あなたの大切な人が倒れてしまったら」との設定で、救命処置に関するお話しと実技指導をお願いしました。

大事なポイントは、①反応の確認 ②通報（119番連絡とAED要請） ③心臓マッサージ ④AED作動 ⑤救急車で搬送 ⑥病院での措置、の流れの鎖がすべてつながって初めて命が救えるとのこと。①～④の流れを、研修用人形を使って、受講生さん一人一人が実習しました。受講生さんの質問にも丁寧に回答いただき、楽しく笑いあいのあつという間の2時間でした。



「特別授業」2024

アコーディオン演奏を楽しむ



10月9日（日）「札幌市教育文化会館リハーサル室」を会場として「特別授業～アコーディオン演奏」が実施されました。演奏者は「1990年第6回全日本アコーディオンコンテスト」で総合準優勝というキャリアを持つ久保達男さん。「ロシア民謡」演奏のあと、久保さんから「楽器の歴史」「構造や音が出る仕組み」の説明があり、受講生さんからも質問が出て「江戸時代に伝来」「価格は百万円」と伺いびっくり。後半、「上を向いて歩こう」「知床旅情」は全員で合唱。休憩をはさんで「枯葉」「パリの空の下」「ラ・クンパルシータ」で外国の雰囲気味わい終了。受講生さんからのアンコールを受けて「見上げてごらん夜の星を」が演奏され、皆で歌って演奏会は終了しました。



「北海道夜間中学交流会」開催

2024年9月15日 かでの2・7 大会議室

9月15日（土）に「北海道夜間中学交流会」が「かでの2・7」で、北海道教育委員会と札幌市・函館市・旭川市・釧路市の各教育委員会の後援をいただいて開催されました。参加者は、オンライン参加を含めて101名。札幌遠友塾受講生さん・同窓生さん、札幌市立星友館中学校の生徒さん、函館・旭川・釧路の自主夜間中学関係者、各界議員、教育委員会関係者、札幌市立星友館中学校の工藤真嗣校長先生・鎌田哲至教頭先生、さらに札幌市立向陵中学校の原田之彦校長先生にもご参加いただきました。前半の「全体会」では各地区夜間中学の今年度の活動報告を聞き、後半の「交流会」では、受講生さんや生徒さんが学習活動について発表し、お互いに交流を深めました。



黒澤実行委員長挨拶



星友館中学校長挨拶



遠友塾受講生発表



遠友塾スタッフ発表



釧路くるかい代表報告



旭川つくる会代表報告



函館遠友塾代表報告



北海道に夜間中学をつくる会共同代表報告



「交流会」での自己紹介の様子